Form No. 3366-182 Rev A

ジョンディア ProGator™ シャーシ取り付けキット

プロパス-200トップドレッサ

モデル番号44714

取り付け要領

安全について

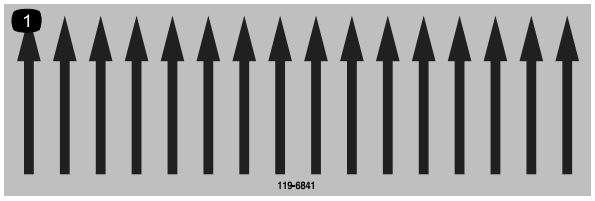
安全ラベルと指示ラベル

以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



119-6840

1. 転倒して制御不能になる危険: 資材を入れた状態でホッパーを上昇させないこと; ホッパーを上昇させたままで車両を走行させないこと。ホッパーが空のとき以外はホッパーを上昇させないこと; 車両を走行させるときには必ずホッパーを一番下の位置まで降下させること。



119-6841

1. 方向指示矢印

© 2012—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は: www.Toro.com.

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA.
禁無断転載

取り付け

1. ジョンディア・プロゲーターから荷台を取り外す。プロゲーターのオペレーターズマニュアルを参照のこと。
2. 左右の内側ブレース・チューブを、後部クロス部材ブラケットの内側に取り付ける；3/8 x 1-1/4 インチのボルト（2本）と 3/8 インチのロックナットを使用し、図 1 のように取り付ける。

   注 左側内側ブレース・チューブと右側内側ブレース・チューブがあります。

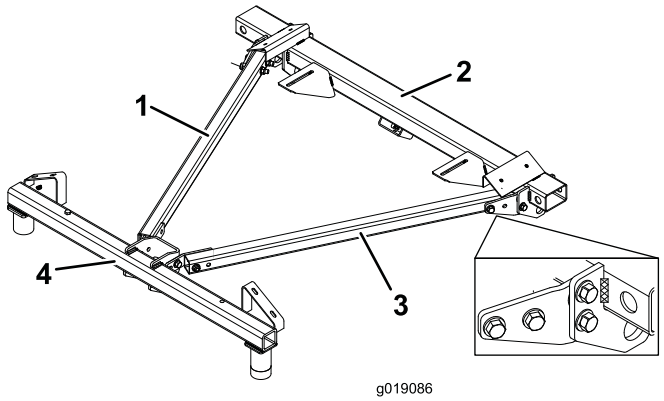


図 1

1. 右側内側ブレース･チューブ
2. 後クロス部材
3. 左側内側ブレース･チューブ
4. 中央クロス部材

3. 内側ブレース・チューブの前部を、中央クロス部材のブラケットに取り付ける； 3/8 x 1-1/4 インチのボルト（2本）と 3/8 インチのロックナットを使用する（図 1）。
4. 出来上がったアセンブリを、車両のフレームに注意深く載せ、後クロス部材のピボット穴と後フレーム部材（チャネル鋼）についている穴とを整列させる。
5. 後クロス部材のそれぞれの端部をフレームのチャネル部材に固定する；先ほど取り外したジョンディアの荷台の取り付けピンを使用する（図 2）。

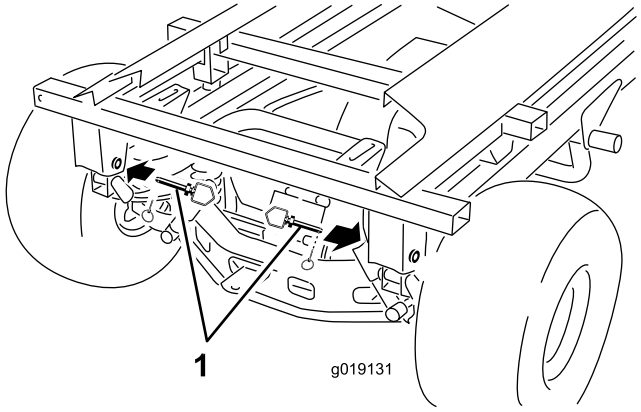


図 2

1. ジョンディアの荷台の取り付けピン

6. 中央クロス部材を、昇降シリンダに固定する；ジョンディアの昇降シリンダ用ピンを使用する（図 3）

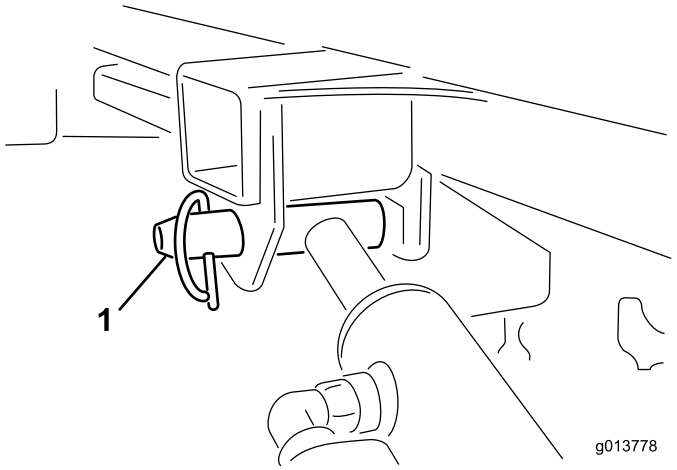


図 3

1. 既存のクレビスピンとリンチピン

7. 中央クロス部材が後クロス部材と直角になっていることを確認する。
8. 中央クロス部材と後クロス部材と水平になっていることを確認する（図 4）。

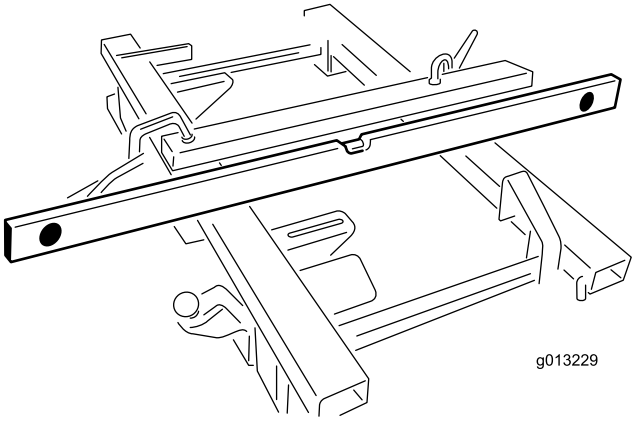


図 4

9. ボルトを締め付けて、内側ブレース・チューブを中央&後クロス部材に固定する。
10. 中央クロス部材と後クロス部材と水平で、互いに直角になっていることを再度確認する。
11. プロパスの左側取り付け用チャネル部材に10個の取り付け穴がついていること、また、右側取り付け用チャネル部材に9個の取り付け穴がついていることを確認する。

    重要 内側クロス部材のボルト穴を整列させるために、油圧昇降シリンダを前に移動する必要がある場合がある。

12. ホッパーアセンブリの内側に吊り上げ用のブラケットがついているので、これにホイストを接続する（図 5）。

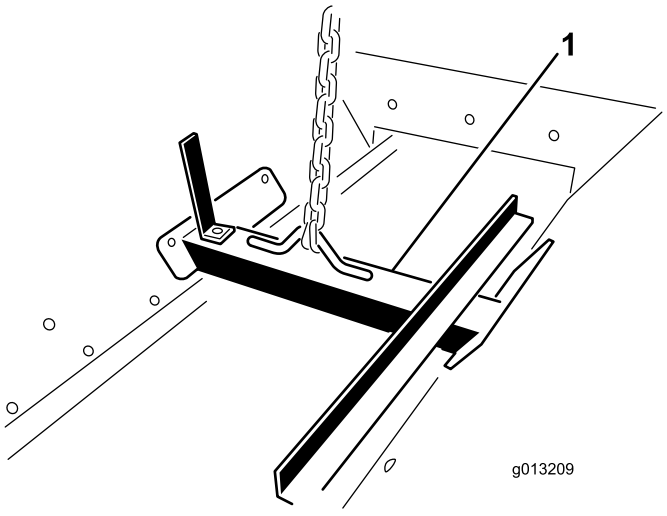


図 5

1. 吊り上げ用ブラケット

13. 吊り上げ装置を使って、プロパスを吊り上げ、その下に車両（プロゲーター）がバックで入れるようにする。
14. プロゲーター車両の上にプロパスを降ろし、センターの穴（プロパスの左右のレールの前から67.9 cm のところにある）を合わせる。
15. 後クロス部材と中央クロス部材にプロパスを固定する（全部で6ヶ所）；5/16 x 3 インチのボルト（2本）、内径 0.344 インチの平ワッシャとフランジロックナット、および、5/16 x 1-1/4 インチのボルト（4本）、内径 0.344 インチの平ワッシャとフランジロックナットを使用する（図 6）。

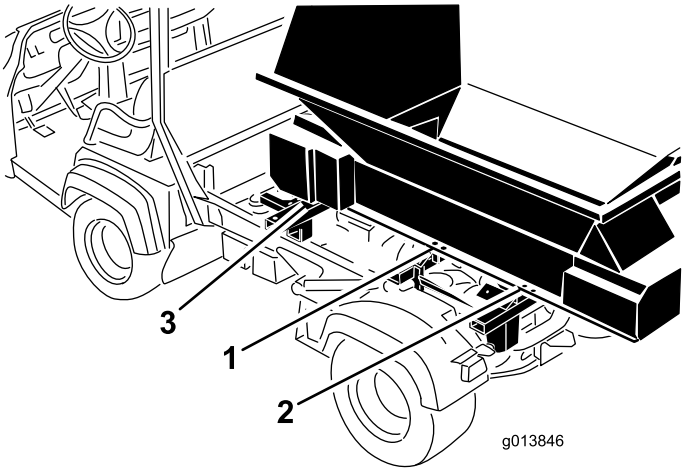


図 6

（図は左側を示す）

1. 中央クロス部材
2. 後クロス部材
3. 前クロス部材

16. 車両に付属している昇降シリンダを使って、プロパスを約 5cm持ち上げ、前クロス部材を取り付けられるようにする。
17. プロパスの両サイドを、前クロス部材に固定する；5/16 x 3 inch ボルト（2本）、内径 0.344 インチの平ワッシャ、およびフランジロックナットを使用する（図 6）。

    注 前ボルトの組み付けがしにくい場合には、駆動ガードを取り外すか、取り付けボルトを下から上に取り付けるようにすると良い。

18. 左側シールドを、クロス部材の左端部に取り付ける；1/4 x 5/20.32 cm フランジヘッドボルト（5本）、フランジロックナットを使用する（図 7）。

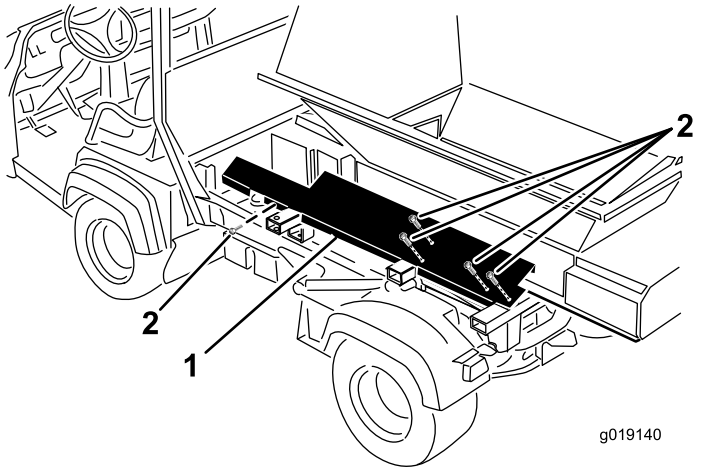


図 7

1. 左側シールド　　2. 取り付け用固定具

19. 右側シールドを、クロス部材の右側端部に取り付ける；1/4 x 3/4 inch フランジヘッドボルト（5本）、フランジロックナットを使用する（図 8）。

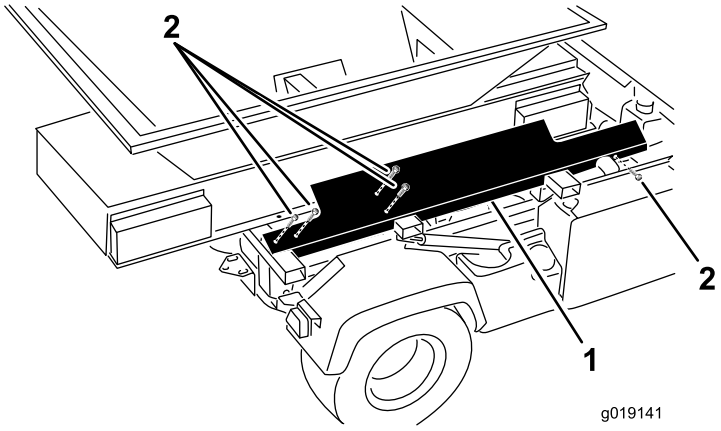


図 8

1. 右側シールド　　2. 取り付け用固定具

20. 右側シールドの後ろを通して、オプション（スピナーやコンベア）用ホースを通し、そこから下へ伸ばしてオプション機器へ接続する（図 9）。

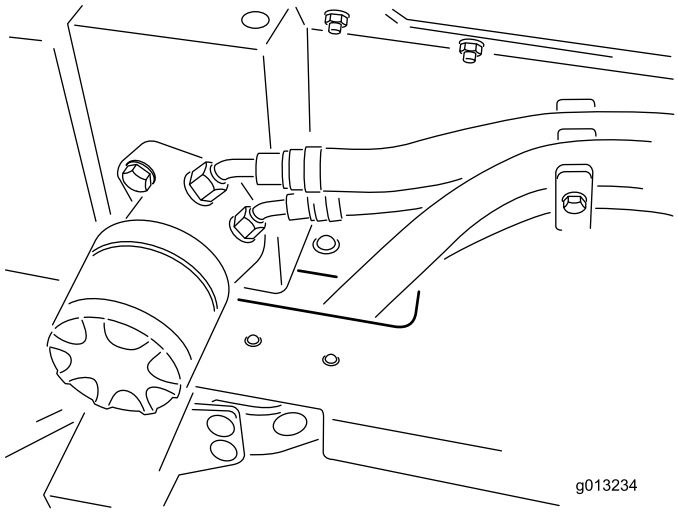


図 9

1. オプション用ホースを取り付ける

21. 油圧昇降シリンダを使ってプロパスの前部を一番高い位置に上昇させる。昇降シリンダを安全サポートで固定する（プロゲーターのオペレーターズマニュアルを参照）。

⚠ 注意

プロパスにオプションを取り付けているときは、プロゲーターの油圧昇降シリンダでプロパスを上昇させないこと。

22. キットについている戻り側のホース（フローを示す矢印が付いている方）と圧力側ホースを探し出す。

23. モデル 44701 では、カバーをプロパスの前部に固定しいているボルト・ナット類を外し、カバーをわきにおいておく（図 10）。

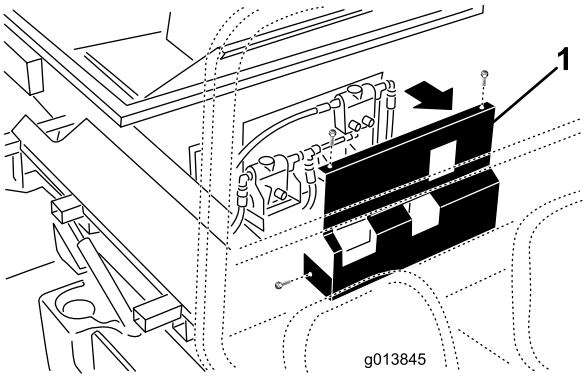


図 10

1. カバー

24. プロパスの戻り側ポートおよび圧力側ポートについているプラグを外す：通常のプロパスの場合は 図 11 を参照、無線プロパス

の場合は 図 12を参照。外したプラグは後のために保管する。

25. 通常のプロパスの場合は 図 11 を参照し、無線プロパスの場合は 図 12 を参照して、ホースをプロパスに接続する。

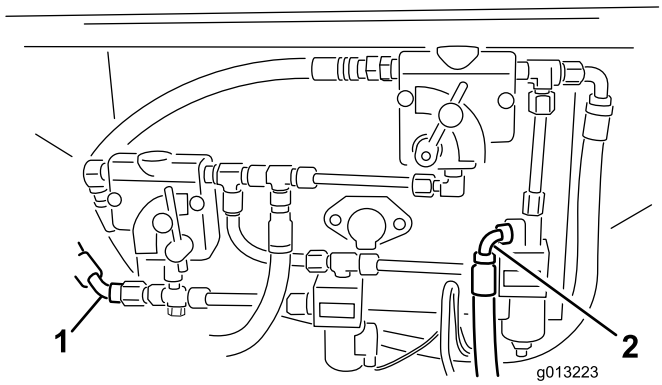


図 11

1. 高圧側ホース（45度フィッティング）
2. リターン側ホース（90度フィッティング）

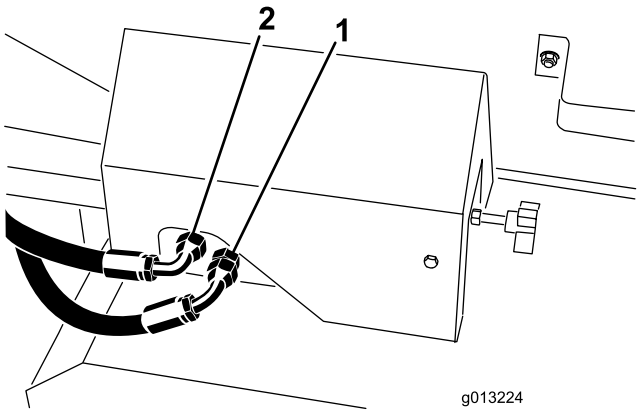


図 12

1. 高圧側ホース（45度フィッティング）
2. リターン側ホース（90度フィッティング）

26. モデル 44701 では、カバーをプロパスの前部に元通りに取り付ける。

27. プロパスの右側に油圧ライン（加圧側とリターン側と）を配設する。途中、各箇所（前部、中央、後部クロス部材）にて、ホースをクランプで固定する。 1/4 x 2-1/5.08 cm ボルト1本、油圧ライン用クランプ2個、クランププレート1枚、ワッシャ1枚、およびフランジロックナット1個を使用する（図 13 と図 14）。

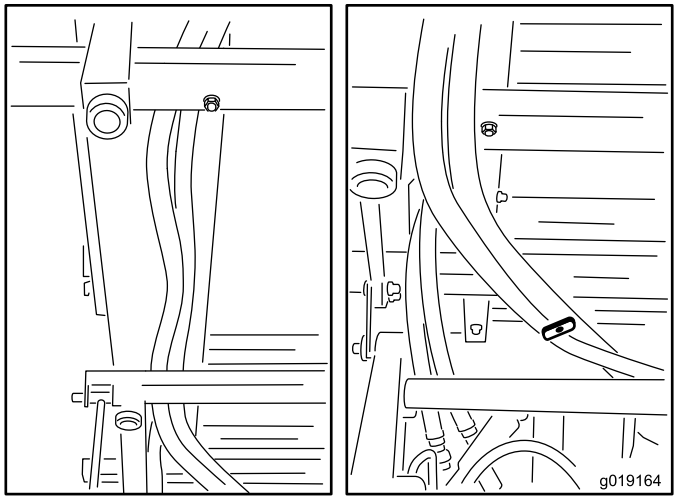


図 13

1. 油圧ホースの配設ルート

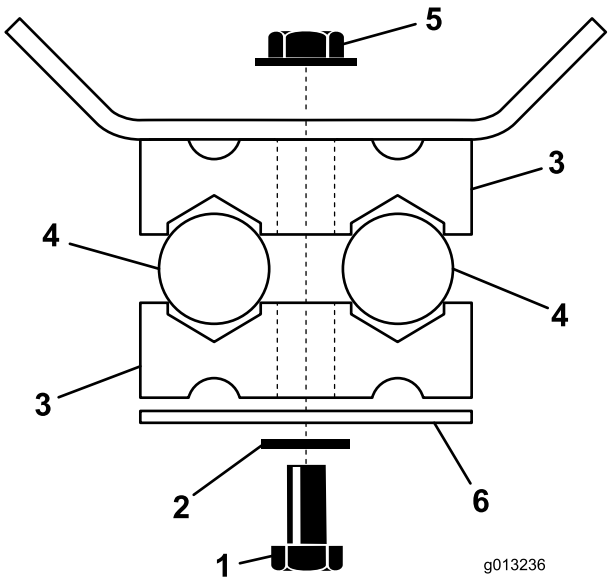


図 14

1. ボルト, 1/4 x 2-1/2 インチ
2. ワッシャ
3. チューブ・クランプ
4. 油圧ホース
5. フランジ・ロック・ナット, 1/4 inch
6. クランプ・プレート

重要 油圧ホースや電気ラインを通すときには、機械の高温部、鋭利な部分、可動部分を確実に避け、また、各ラインに無理な力が掛からないように注意してください。場合によっては、前部のバルクヘッドで油圧ホースをゆるめる、位置を調整するなどの作業が必要になります。

28. 前部クランプと中央クランプとの間で、ホースが上に逃げるように配置する。このために、ケーブルタイ（2本）を使って、油圧ホース2本をプロパスのサイドレールに固定する（取り付け穴を使う）（図 15）。

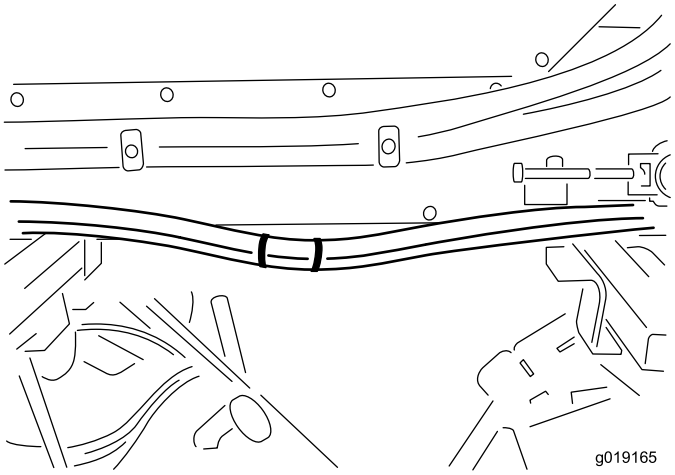


図 15

1. 油圧ホースには適度な張りを持たせる

29. 油圧ホース（高圧側およびリターン側）をプロゲーター後部の油圧ポートに接続する。
30. 電気コードの配線と接続を行う。電気系統の接続については、プロパスのオペレーターズマニュアルを参照のこと。

    注 電気系統の接続をプロゲーターのバッテリーの近くで行っている場合には、プロパスから引いてきた電源コードを車両後部のピボット部に引き、そこから前方に送ってバッテリーまで到達させるようにしてください。

    注 電気配線の接続を牽引車両の後部で行っている場合には、コード類をプロパスの油圧ホースに縛り付けておくと便利です。
31. プロゲーターの油圧昇降シリンダに取り付けた安全バーを外し、プロパスを元通りにプロゲーターのシャーシの上に降ろす。
32. オプションを取り付け、プロパスの油圧ホースに接続する。

    注 プロゲーターの後部に取り付けられている油圧ホースがオプションと接触しないように注意する。
33. 無線取り付けアセンブリの曲線になっているクランプ部分を利用して、このアセンブリをハンドホールドチューブの左端部に仮止めする；アセンブリの付属部品であるボルト4本とナットを使用する。ブラケットは図 16 のように組み付ける。

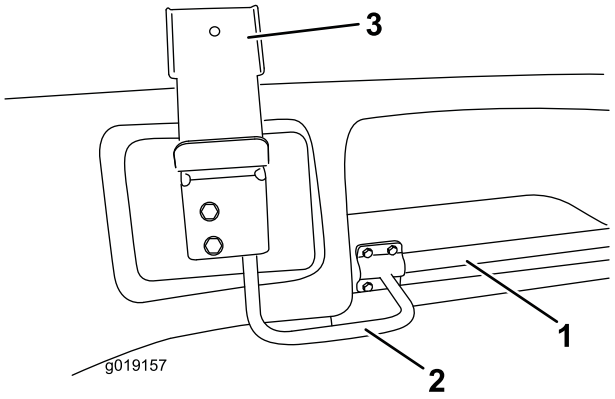


図 16

1. ハンドホールドチューブ
2. 無線取り付けアセンブリ
3. コントローラ用マウント

34. コントローラ用マウントを無線取り付けアセンブリに固定する；アセンブリの付属部品であるボルト2本、ワッシャ、ナットを使用する。コントローラ用マウントは、図 16のようにセットする。
35. アセンブリを希望の位置に取り付けて、固定する。
36. コントローラを接続し、コントローラ用マウントにセットする。
37. ホッパー・アセンブリの内側から吊り上げ用のブラケットを外し、外してあった吊り上げブラケット用締結具をホッパーに元通りに取り付ける。

メモ：



Count on it.